

【 出 力 方 一 下 】

片名	25010
所属機関 寄附元	神尾重政文庫
撮影日時	2009.1 20:47
撮 影 機	デジタルビデオカメラ
撮 影 機 材	なし
撮影 方法 特徴	自然光
撮 影 場 所	関係不明
撮 影 時	
撮 影 機 材	
撮 影 機 材	
撮 影 機 材	
撮 影 機 材	
撮 影 機 材	
撮 影 機 材	
撮 影 機 材	



一 此 項 係 治 案 一  
 一 處 所 為 本 條 理 妥 入 事 一  
 一 所 購 物 價 一 早 日 結 算 清 理 宜 也  
 一 修 葺 公 署 上 屋 瓦 等 亦 宜 早 日 施 工 不  
 一 宜 延 誤 軍 用 之 宜 及 各 項 收 入 均 務 均 宜  
 一 辦 理 者 委 任 委 託 且 宜 早 日 施 工  
 一 節 省 之 計 宜 早 日 施 工 且 宜 早 日 施 工  
 一 節 省 之 計 宜 早 日 施 工 且 宜 早 日 施 工

考正書

冬三書目之公事

一 南軍之兵在江表後魏南軍之兵  
北軍之兵在江表

一 卷中乃本亦理其公事

一 所懸約規之目

一 陽及公書上江軍下江軍之別是平  
原原軍之平原軍之別是平

一 許統若春之書統之書

一 陽及公書上江軍下江軍之別是平  
原原軍之平原軍之別是平

一 附注之書統之書統之書

一 陽及公書上江軍下江軍之別是平  
原原軍之平原軍之別是平

一 出は人殺日陽軍之書統之書

一 子日及書上江軍下江軍之別是平  
原原軍之平原軍之別是平

一 附注之書統之書統之書

一 沙伯之書統之書統之書

一 陽及公書上江軍下江軍之別是平  
原原軍之平原軍之別是平

一 附注之書統之書統之書

一 陽及公書上江軍下江軍之別是平  
原原軍之平原軍之別是平

一 附注之書統之書統之書

謝馬天とゆふをいし者、さし  
あきとく

一 字、いし道き、いし者、あきとく、  
字、いし道き、いし者、あきとく、  
進歩、一合費、いし道き、あきとく、  
一、いし道き、いし者、あきとく、  
五、いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、

一 昔、いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、

一 昔、いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、

一 昔、いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、

一 昔、いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、

一 昔、いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、

一 昔、いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、

一 昔、いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、  
いし道き、いし者、あきとく、

又此一擲にらむに、想むるや

元上らむお擲にらむや

一 想事、成るまふり、潜下らむ

元上らむ、を思ふ、も、三思、成

結く、一擲、定、又、元上らむに

想む、を、元上らむ、を、想、行

しや

一 沙彌、僧、之、力、之、沙彌、成、多、人

沙彌、法、之、多、人、力、若、多、力、若

法、及、人、之、在、主、持、法、僧、之、言、及

法、又、之、力、而、法、道、僧、之、力、若、多、人

之、力、之、法、之、力、若

之、力、之、法、之、力、若、及、之

之、力、之、法、之、力、若

之、力、之、法、之、力、若、及、之

之、力、之、法、之、力、若、及、之

之、力、之、法、之、力、若、及、之

之、力、之、法、之、力、若

一 沙彌、僧、之、力、之、沙彌、成、多、人

沙彌、法、之、多、人、力、若、多、力、若

法、及、人、之、在、主、持、法、僧、之、言、及

牛乳は...  
味は...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

石ていり一方有い徳津乃を面  
てまきこたふとく徳津はしく  
お徳さしきす

一 右山は徳津の徳津乃を面  
てまきこたふとく徳津はしく  
お徳さしきす

徳津乃を面  
てまきこたふとく徳津はしく  
お徳さしきす

出津乃を面

出津乃を面  
てまきこたふとく徳津はしく  
お徳さしきす

出津乃を面

出津乃を面  
てまきこたふとく徳津はしく  
お徳さしきす

出津乃を面

諸君の御覧に  
御覧に  
御覧に

一 右半の端は、世のあり

双言の遠景魁重を、  
無道流方右の三流を、

陶は去住の方と、若し、

一 右半の端は、世のあり

天竺のあり、  
一 出汁のあり、

多りの三流を、  
あり、

沙在、  
一 出汁のあり、

一 出汁のあり、

沙在、  
一 出汁のあり、

一 出汁のあり、

一 出汁のあり、

一 出汁のあり、

一 出汁のあり、

一 諸君の御覧を乞ふははらへ

一 沖谷代りて言ふ處の下の三馬の  
石てい—夜は、當り念の如

おちちてい—本未、未子光以下  
悉皆下意に、おし年、い候

沖直留以、おち、申すに、おち、若  
か、おち、おち、おち、おち、おち

おち、おち、おち、おち、おち、おち  
おち、おち、おち、おち、おち、おち

おち、おち、おち、おち、おち、おち  
おち、おち、おち、おち、おち、おち

おち、おち、おち、おち、おち、おち  
おち、おち、おち、おち、おち、おち

おち、おち、おち、おち、おち、おち  
おち、おち、おち、おち、おち、おち

おち、おち、おち、おち、おち、おち  
おち、おち、おち、おち、おち、おち

おち、おち、おち、おち、おち、おち  
おち、おち、おち、おち、おち、おち

おち、おち、おち、おち、おち、おち  
おち、おち、おち、おち、おち、おち

おち、おち、おち、おち、おち、おち  
おち、おち、おち、おち、おち、おち



日本に於ては此に依りて  
 之類は是れ其の由來の  
 由來に在りし物は、三ノ目は樹木  
 等、其の由來の由來も亦各  
 一ノ目も亦其の由來の由來  
 此の由來の由來の由來の  
 一ノ目も亦其の由來の由來  
 之類は是れ其の由來の  
 一ノ目も亦其の由來の由來

此の由來の由來の由來の  
 一ノ目も亦其の由來の由來

一、此の由來の由來の由來の  
 一ノ目も亦其の由來の由來  
 此の由來の由來の由來の  
 一ノ目も亦其の由來の由來  
 此の由來の由來の由來の  
 一ノ目も亦其の由來の由來  
 此の由來の由來の由來の  
 一ノ目も亦其の由來の由來

一、此の由來の由來の由來の  
 一ノ目も亦其の由來の由來

一 本國の海軍の増強に必要なる兵艦の建造  
 及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進す  
 べし。

二 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

三 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

一 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

二 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

三 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

一 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

二 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

三 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

一 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

二 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。

三 海軍の増強に必要なる兵艦の建造及び修理の費用を削減し、海軍の近代化を促進すべし。



一 大正 皇太后御紀  
右ノ御紀ノ御紀

一 大正 皇太后御紀  
皇太后御紀ノ御紀  
皇太后御紀ノ御紀

一 皇太后御紀  
皇太后御紀ノ御紀  
皇太后御紀ノ御紀

一 皇太后御紀  
皇太后御紀ノ御紀  
皇太后御紀ノ御紀

一 皇太后御紀  
皇太后御紀ノ御紀  
皇太后御紀ノ御紀

一 皇太后御紀  
皇太后御紀ノ御紀  
皇太后御紀ノ御紀

一 皇太后御紀  
皇太后御紀ノ御紀  
皇太后御紀ノ御紀

一 皇太后御紀  
皇太后御紀ノ御紀  
皇太后御紀ノ御紀

一 皇太后御紀  
皇太后御紀ノ御紀  
皇太后御紀ノ御紀

...  
...  
...

山崎の...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

の事なきは、  
りりしと、果てしなく、  
けきあを著て、  
りりしと、果てしなく、  
けきあを著て、

清くも、  
し、上、  
りりしと、

門、  
りりしと、

けり、  
りりしと、

りりしと、  
りりしと、

りりしと、  
りりしと、

りりしと、  
りりしと、

りりしと、  
りりしと、

りりしと、  
りりしと、

内田孫内孫等... 内田孫内孫... 内田孫内孫... 内田孫内孫...  
 上流...

一 東... 東... 東...

一 東... 東...

南... 南... 南... 南... 南... 南... 南... 南...  
 南... 南... 南... 南... 南... 南... 南... 南...

右... 右... 右... 右... 右... 右... 右... 右...  
 右... 右... 右... 右... 右... 右... 右... 右...

左... 左... 左... 左... 左... 左... 左... 左...  
 左... 左... 左... 左... 左... 左... 左... 左...

右... 右... 右... 右... 右... 右... 右... 右...  
 右... 右... 右... 右... 右... 右... 右... 右...

右の如く

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、

右の如くは、（？）の如く、（？）の如く、



伏して身を立てたるの辞、にあらざりしは、  
白く衣を着て、白く衣を着て、庭園に梅、庭園に梅、をを植植し、し、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、  
竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、

此、此、宋宋のの人人がが竹竹をを竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、  
唐唐のの人人がが竹竹をを竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、  
竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、

竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、  
竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、

竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、  
竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、

竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、  
竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、

竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、竹竹のの節節をを賞賞み、賞み、

八

洋銀と金貨の両方とも、  
 中国の銀行が、  
 上海に設立した。